

◇ 第91回リカレントセミナー 研修会報告 ◇

日 時	2019年9月8日(日) 9:30~12:45
場 所	神戸薬科大学 3階 K1132教室
テ ー マ	もう一度“薬物動態”を学び直す
受講資格	現役の薬剤師
受講者数	110名(※実践薬学受講生 11名含む)

【研修内容】

演 題1 「薬物動態を学び直し、ワンランク上の業務遂行に役立てる」

講 師: 神戸薬科大学 薬剤学研究室
教授 大河原 賢一 先生



薬剤学研究室
教授 大河原 賢一 先生による講義



100名を超える申し込みがあり、大盛況の研修会となりました。

演題2 「薬物動態を理解し、処方設計に活かす」

講師：神戸大学医学部附属病院薬剤部
教授・薬学部長 矢野 育子 先生



講義終了後は、活発な質疑応答となりました。



神戸大学医学部附属病院薬剤部
教授・薬剤部長 矢野 育子 先生による講義

アンケート(今回の講義で得たことはどのようなことか)抜粋

- ・添付文書の内容をもっと理解し、普段の業務に活かせたらと思い参加したが、長らく動態の用語の定義や計算式などの導き出し方を忘れていたことに気づき、大学の講義でそういえばやったなと思いたすことができました。まだまだ復習しないといけないことがあることもわかり、今回の講義が学び直しのきっかけになりました。
- ・薬局に来られるのが高齢者が多いので、高齢患者において、腎機能・肝機能を考えるの投与設計について。
- ・理論武装が大切という言葉が心に響きました。薬物動態をどの様に考え、何を具体的に調べていくかを学べましたが、基礎が未熟です。これからまた学んでいきたいと思いました。
- ・高齢者の薬物動態の特性。
- ・検査値をより詳しく勉強していきたいです。
- ・薬物動態(添付文書からの)の読み取り方。
- ・添付文書の見方、使い方などわかりやすかった。
- ・eGFRやクレマチニンクリアランスの理解。
- ・処方内容の再確認。
- ・大学時代の内容をupdateできた。
- ・注意点、学び直すポイントがよくわかり、今後も努力していかないと感じた。
- ・薬物動態をもう一度、学ぼうと思います。 etc

